

【多摩中央公園】

中央部に大池、南側を芝生の広場が囲み開放感溢れ、東側の外周部は都市緑化植物園や古民家の公園。

旧富澤家：連光寺村の名主の住宅を復元移築、周囲を和風庭園として整備したもの。明治天皇をはじめ、皇族の方々が兎狩りなどの行幸の際「御小休所」として利用。1990年(平成2)に 移築、復元。建物規模は主屋桁行:9.5間、梁行:5.0間。構造形式は下屋造、屋根は入母屋、推定建築年代18世紀中頃より後半。

鶴牧：昔、この地区の田圃に鶴が飛来してきたことに由来か。江戸時代、農夫が足を痛めた鶴を介抱したが、死に噂は代官に伝わった。しかし、名主の機転で「鍛冶屋で鍋のツルを打ったので、鶴を打ったのではありません」と上申、打ち首を免れたという。

【富士見通・桜並木】

宝野公園と奈良原公園を結び、通りと名が付くが両側を桜並木の遊歩道に挟まれた細長い芝生広場。澄んだ日には富士山の姿も。

【西落通り・八重桜】

落合5丁目の住宅街の中を抜ける通り、距離は約1km。八重桜の並木で、四月中旬から下旬にかけ濃いピンクの花が通りを彩る。

【一本杉公園・桜】

一本杉球場の北側、市指定の天然記念物のスダジイの付近は桜の林で美しい景観を見せてくれる。

【瓜生一里塚跡】

瓜生せせらぎ散歩道の中程に、瓜生一里塚跡の碑が建っている。多摩市内唯一の一里塚で、ここから西南70mほど離れた鎌倉街道を挟んだ両側に、径4.6m、高さ3mほどの塚が存在していた。元和3年(1617)、駿河国久能山に埋葬されていた家康の遺骸を日光東照宮に移すために街道「御尊柩御成道」の整備を行い、この一里塚が造られたと言われている。また、一里ほど離れた町田市小野路にも、この時に造られたと思われる一里塚が残されている。